

【SAF 国際競争とディーゼル代替燃料の実態を読み解く】

脱炭素化が困難な ジェット・ディーゼル燃料の動向と課題

～政策・技術・原料争奪戦から導く日本企業の戦略的示唆～

— 講師 —

合同会社ポスト石油戦略研究所 代表 大場 紀章 氏

日 時 2026 年 1 月 1 6 日 (金) 午後 1 時～3 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信 (2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

〔重点講義内容〕

前回のガソリン代替燃料に続き、本講演では、脱炭素化が特に困難とされるジェット燃料とディーゼルの代替燃料に焦点を当てます。航空分野で「唯一の現実的な解」とされる SAF (持続可能な航空燃料) を巡る熾烈な国際競争の実態を、日米欧の政策や e-SAF、ATJ といった技術動向から解説します。また、トラック輸送等を支えるディーゼル代替燃料として、バイオディーゼル (FAME) や再生可能ディーゼル (RD/HVO) が直面する構造的な課題、特に廃食油 (UCO) などの原料を巡る世界的な争奪戦について定量的に分析します。最後に、日本の事業者がこの大きな変化にどう向き合うべきか、そのインプリケーションを提示します。

1. 導入: ガソリン代替からジェット・ディーゼル代替へ
2. SAF (持続可能な航空燃料) を巡る国際競争
3. 日米欧の SAF 戦略比較 (日本の課題、EU の e-SAF、米国の ATJ)
4. ディーゼル代替燃料 (FAME vs HVO/RD) の動向
5. 世界的な原料 (廃食油) 争奪戦の実態
6. 日本の課題と事業者へのインプリケーション
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 大場 紀章 (おおば のりあき) 氏

愛知県生まれ。京都大学理学研究科博士後期課程単位取得退学後、2008 年～2015 年に技術系シンクタンク・株式会社テクノバにてエネルギーや次世代自動車技術に関する調査研究を行う。その後フリーランスのエネルギーアナリストを経て、2021 年に合同会社ポスト石油戦略研究所を設立し、現在代表を務める。ポスト石油時代における日本のエネルギー安全保障や産業戦略について提言を行っている。株式会社 JDSC エグゼクティブフェロー、株式会社 PHP 総研客員研究員。経済産業省「クリーンエネルギー戦略検討会」委員。「ラジオ Nikkei」、「朝まで生テレビ」、「ABEMA Prime」など、ラジオ・テレビ・講演会等へ多数出演。

